

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：15201

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2022

課題番号：16K04689

研究課題名（和文）美術教育学の制度的基盤の成立過程の研究

研究課題名（英文）A Historical Review of Establishment of the Art Pedagogy

研究代表者

有田 洋子（ARITA, YOKO）

島根大学・学術研究院教育学系・准教授

研究者番号：70598143

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、第二次世界大戦後日本の美術教育学の制度的基盤の成立過程を、教員養成大学・学部的美術科教育専門の人的整備過程と捉え、全国大学を網羅的に調査してその可視化を試みた。そして、美術教育学の制度基盤は、教員養成政策の教養重視から教職重視への転換、すなわち昭和39年から53年までの学科目「美術科教育」の全国整備と、昭和43年から平成11年までの大学院美術教育専攻の全国設置によって成立したことを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

美術教育学分野で類似の試みはない。美術科教育の制度的・人的整備を、美術教育学のインフラ整備と捉えた点と、全国網羅的調査である点に学術的意義がある。美術教育学の制度的基盤の成立過程の解明は、今なお政策や社会の大きな変化に対応している美術教育学の状況を冷静に把握させ、今後の美術教育学研究を着実に前進させる。また美術教育学の学問的解明のための基礎資料、地方美術教育史及び地方美術史研究の基礎資料ともなる。

研究成果の概要（英文）：This research examines the process of establishment of the institutional foundation of art pedagogy in Japan after World War II as the process of developing human resources specializing in art education at teacher training colleges and departments, and comprehensively surveys all universities nationwide, and tried to visualize it. The institutional basis of art pedagogy was the shift in teacher training policy from an emphasis on liberal arts to an emphasis on the teaching profession. It was revealed that it was established by the nationwide establishment of graduate school art education majors by 2016.

研究分野：美術教育学

キーワード：美術教育学 美術教育史 教科教育学 師範学校 教員養成 学科目 大学院 教育政策

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

### 1. 研究開始当初の背景

現在、美術教育学は、美術専門とは異なる独自性をもつ一つの学として認められている。しかし、そのようになったのは近年のことである。戦前の図画教授法は図画専門内容と未分化であった。美術教育学は戦後の教員養成大学・学部的美術科教育専門の教官によって成立した。それは実質的な学問内容としての成立と、人的制度としての成立の場合がある。美術教育学は人的制度と人的配置が先行し、その後で実質的内容が整備された。師範学校の教員養成大学・学部への移行から、学科目整備、そして大学院美術教育専攻・専修（以下、専攻と表記）設置へと至る中で、大学によって様相は様々であるが、美術教育学の人的制度と人的配置が確立していく。本研究は以上を美術教育学成立のいわばインフラ整備として明らかにするものである。

分野と方法が似ている研究として、戦前の図画教員の全国配置を網羅的に調査した金子一夫の「明治期中等学校図画教員総覧」（『近代日本美術教育史の研究 明治時代』所収、平成4年）、「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究（1）～（5）」『茨城大学教育学部紀要（教育科学）』第61-64号、平成24-27年がある。また、美術史学におけるその学としての成立過程の研究に、太田智己『社会とつながる美術史学』（平成27年）がある。一般的な教員養成政策の歴史研究に、山田昇『戦後教員養成史研究』（平成5年）、TEES研究会『「大学における教員養成」の歴史的研究』（平成13年）等がある。いずれも発想や方法は似ている面はあるものの、美術教育学の成立過程や美術科教育専門教官を主要な対象として扱うものではない。

今なお教員養成大学・学部は大きな変化の渦中にある。美術教育学は、教員養成大学・学部に関する政策や社会の大きな変化に直面している。美術教育学が制度的に成立したかと思われるのに、大学改革によって美術教育学及びその専門家の位置は流動化している。教員養成大学・学部における美術教育学が成立する過程を跡づけることで、美術教育学が出現した必然性もより明らかになる。

### 2. 研究の目的

本研究は第二次世界大戦後の日本の美術教育学の制度的基盤の成立過程は、全国の教員養成大学・学部での美術科教育専門の人的整備過程であるとして、全国網羅的調査を行い、全国の教員養成大学・学部の人的整備過程を可視化し、その全体像を明らかにする。

### 3. 研究の方法

#### (1) 方法

美術教育学の成立に関する制度的転換点は、1. 師範学校の教員養成大学・学部への移行、2. 昭和39年から始まる学科目の設置、3. 昭和43年から始まる大学院美術教育専攻の設置である。これらをどのように進んだのかは大学によって様々であるので、まず個々の大学の事例を解明する。具体的には、全国47都道府県の各師範学校及び国立教員養成大学・学部にて在職した美術関係教官の人的配置表を作成して、上記の制度的転換をどのように進んだのかの実際を考察する。さらに、全ての事例を総合して図表等にして、美術教育学の制度的基盤の成立過程の全体像を解明する。

#### (2) 時期区分

本研究は対象を次の三段階に区分する。第一段階：戦後初期の美術教育専門と美術専門が未分化の時期（師範学校が新制国立大学になった昭和24年前後から次期直前まで）。第二段階：昭和39年2月25日文部省令第3号「国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令」（以下、学科目省令と略記）によって「美術科教育」の定員が作られ、美術教育専門と美術専門が形式的に分化し、美術科教育の形式的専門性が制度的に出現した時期（教員養成大学・学部にて学科目が導入された昭和39年から次期直前まで）。第三段階：昭和43年から平成11年にかけての大学院教育学研究科美術教育専攻の設置と美術教育学専門家の配置によって、美術教育専門と美術専門が実質的に分化し、美術教育学の内容的専門性が制度的に保証され、人的制度基盤が成立した時期（大学院美術教育専攻が設置され始めてから全国設置が完了するまで）。

#### (3) 問題の所在

- ① 第一段階では、師範学校から新制国立大学への美術教官の移行はどのようであったか。
- ② 第二段階では、学科目省令の発足と各大学における学科目の整備過程、特に学科目「美術科教育」設置の進行はどのようであったか。
- ③ 第三段階では、大学院教育学研究科及び同美術教育専攻の設置過程の実際はどのようであったか。
- ④ 各教員養成大学・学部における美術教育学の制度的基盤の成立過程の実際はどのようであったか。
- ⑤ 美術教育学の制度的基盤の成立過程の全体像はどのようであったか。



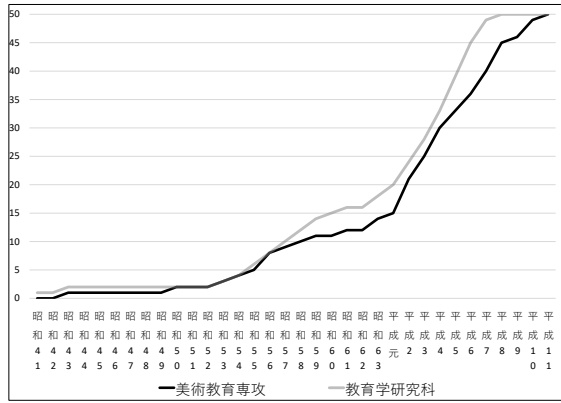
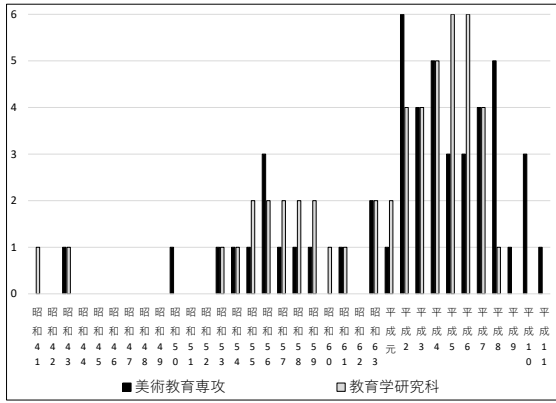


図3 大学院教育学研究科と同美術教育専攻設置数の変化 図4 大学院教育学研究科と同美術教育専攻設置数の変化(累積)

④各教員養成大学・学部における美術教育学の制度的基盤の成立過程の実際はどのようなであったか。

全国 47 都道府県の師範学校及び国立教員養成大学・学部にて在職した美術教官の人的配置表を作成し、上記三段階の実際を考察した。表は大正 15 年から平成 15 年までに時期範囲を前後に拡大し、昭和の始まりから大学法人化までの人的配置を可視化した。大学ごとの人的配置の三段階を明らかにできた。初期の美術科教育関係授業を担当した教官、学科目「美術科教育」に所属した教官、大学院「美術科教育」分野の教官を特定できた。概括的に見ると、中央の大都市圏の大学や地方の中核都市にある大学は人的制度も人的配置も早い傾向がある一方、周辺地方の大学では遅れ気味であった。

⑤美術教育学の制度的基盤の成立過程の全体像はどのようなであったか。

美術教育学の制度的基盤は、まず大学での教養教育重視を原則とした戦後の教員養成政策が徐々に教職の専門性重視へ転換していくことに呼応して形成された。師範学校から教員養成大学・学部へ美術関係教官の多くは移行したことで美術専門と美術教育専門の未分化も継承されたのが、昭和 39 年から 53 年までに学科目「美術科教育」が全国設置されることで形式的に分化していき、昭和 43 年から平成 11 年までに大学院美術教育専攻が全国設置されることで美術教育学の制度的基盤は完成する。三段階の概念図は、水平軸の時間と垂直軸の大学数に反映させると図 5 のようになる。

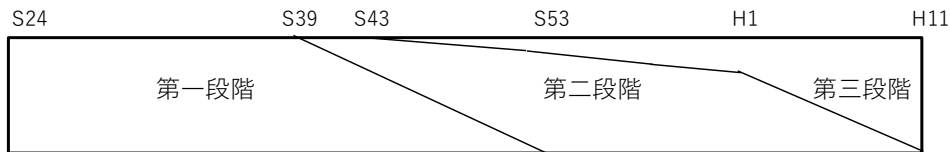


図5 美術教育学の制度的成立の三段階の概念図

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 44
2. 論文標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 - 千葉大学 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 19-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 44
2. 論文標題 贈と交換システム論的美術教育学における純粹贈与 純粹贈与と無・無意識・純粹贈与	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 55
2. 論文標題 子どもの論理による美術教育思想の研究 2 西野範夫の教科調査官就任前の美術教育思想	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 美術教育学研究	6. 最初と最後の頁 81-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 -
2. 論文標題 安岡信義と近代日本中等学校美術教育 東京美術学校図画師範科と富山県美術教育を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 友岡真秀編『安岡信義1888-1933 近代洋画の黎明期を生きた画家』鳥取県立博物館	6. 最初と最後の頁 9-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 89
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 19 富山県	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 32-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 90
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 20 石川県	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 26-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 91
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 21 福井県	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 32-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 92
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 22 山梨県	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 43
2. 論文標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 - 奈良教育大学 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 17 - 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 43
2. 論文標題 贈与交換システム論的美術教育学の交換と教材の層的構造 言語記号論的・時間論的考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 42
2. 論文標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 - 岐阜大学 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 37 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 42
2. 論文標題 贈与交換システム論的美術教育学の意義 美術学習論の克服、贈与交換類型、学習共同体	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 135-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 54
2. 論文標題 子どもの論理による美術教育思想の研究 1 長期連載・西野範夫「子どもがつくる学校と教育」の検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術教育学研究	6. 最初と最後の頁 73-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19008/uaesj.54.73	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 -
2. 論文標題 「美術と教育 全国リサーチプロジェクト」に寄せてー美術専門と美術教育専門の間 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術と教育 全国リサーチプロジェクト2019 こんな授業を受けてみたい! 報告書	6. 最初と最後の頁 232-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 86
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 16 神奈川県(その一)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 42-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 87
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 17 神奈川県(その二)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 31-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 金子一夫	4. 巻 88
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 18 新潟県	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 21-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 29
2. 論文標題 山本鼎の生いたち 付論・国柱会との関わり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 近代画説	6. 最初と最後の頁 4 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 82
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員12 栃木県	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 43-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 83
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員13 群馬県	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 47-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 84
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員14 埼玉県	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 43 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 第7巻第1号
2. 論文標題 「教科内容構成とシラバスの提案：美術」の批評	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教科内容学会誌	6. 最初と最後の頁 65-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 41
2. 論文標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 和歌山大学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 17 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 41
2. 論文標題 美術教育学における贈与交換システムの複合的構造 参照源の構造、及び学習間交換	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24455/aaej.41.0_85	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 78
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員9 宮城県	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 51-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 79
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員10 福島県	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 50-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 80
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員11 岐阜県	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 54-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 81
2. 論文標題 山本鼎研究拾遺 村山谷助、桜井寅吉のことなど	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 50-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田洋子	4. 巻 40
2. 論文標題 戦後日本の教員養成大学・学部における美術教育学の人的制度基盤の成立	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 35-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24455/aaej.41.0_17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 68
2. 論文標題 大正・昭和戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究(6) 東京府内私立女学校	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 茨城大学紀要(教育科学)	6. 最初と最後の頁 117-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 40
2. 論文標題 贈与交換システム論的美術教育学の整備 要素の構造、参照源そしてシステム作動	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 145-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24455/aaej.40.0_145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 74
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 5 岩手県	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 44-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 75
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 6 秋田県	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 50-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 76
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 7 奈良県	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 48-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 77
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校の図画教員 8 山形県	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 70
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校図画教員1 北海道(1)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 49-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 71
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校図画教員2 北海道(2)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 46-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 72
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校図画教員3 北海道(3)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 45-57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 73
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校図画教員4 青森県	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 42-55
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 85
2. 論文標題 大正・昭和戦前期中等学校図画教員 15 千葉県	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 38-57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子 一夫	4. 巻 39
2. 論文標題 贈与交換システム論による美術教育学の構築 美術教育実践の贈与交換・相互交感・純粹贈与の三層構造解	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 89-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24455/aaej.39.0_89	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子 一夫	4. 巻 38
2. 論文標題 現代美術教育学研究の問題点とその解決 贈与交換論による美術教育の再定義を通して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 美術教育学	6. 最初と最後の頁 44-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 69
2. 論文標題 旧植民地の図画教員 附論・植民地外の在外学校	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 66
2. 論文標題 旧植民地の図画教員(五)旧台湾	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 44-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 67
2. 論文標題 旧植民地の図画教員 旧関東州・南満州	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 45-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 68
2. 論文標題 旧植民地の図画教員 旧樺太州・南洋庁	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 一寸	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 25
2. 論文標題 近代日本美術における地域・地方・中央	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 近代画説	6. 最初と最後の頁 19-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 23
2. 論文標題 植田竹次郎『臨画帖』と岡倉覚三 その実質的編輯者と内容の構成をめぐって	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 五浦論叢 (茨城大学五浦美術文化研究所紀要)	6. 最初と最後の頁 25-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 片口直樹・金子一夫	4. 巻 23
2. 論文標題 沈黙交易・贈与交換の概念による、美術教育実践の解釈と構想	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 五浦論叢（茨城大学五浦美術文化研究所紀要）	6. 最初と最後の頁 89-103
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 第77巻第6号
2. 論文標題 フェノロサ 『美術真説』明治十五年	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 教育美術	6. 最初と最後の頁 60-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子一夫	4. 巻 -
2. 論文標題 近代日本における佐賀県の中等学校図画教育	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 佐賀の美術教師たち 地方画壇の成立と美術教育者（佐賀大学美術館）	6. 最初と最後の頁 4-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 5件／うち国際学会 0件）

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 大田耕士取材の回想 日本教育版画協会について
3. 学会等名 版画史研究会（於：町田市立国際版画美術館）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 「金子・柴田論争」の歴史的意味 美術教育思想の次元と学校教育の次元 付論：文脈主義の究極としての造形遊び概念
3. 学会等名 2022年度美術教育学会リサーチフォーラムin東京・弘前（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 戦後美術教育史の構想 戦前と戦後の連続性 戦後前・後期の区分の提案
3. 学会等名 第45回美術科教育学会兵庫大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 子どもの論理による美術教育の論理1 長期連載・西野範夫『子どもがつくる学校と教育』の検討」
3. 学会等名 第60回大学美術教育学校山形大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 贈与交換システム論的美術教育学における教育内容と教材
3. 学会等名 第43回美術科教育学会愛媛大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新井哲夫、永守基樹、有田洋子、赤木里香子
2. 発表標題 美術教育学研究の先達に聞く
3. 学会等名 第43回美術科教育学会愛媛大会美術教育史研究部会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新井知生、有田洋子
2. 発表標題 美術の教科内容構成を基にしたシラバス提案と批評文
3. 学会等名 日本教科内容学会第 7 回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 有田洋子
2. 発表標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 岐阜大学
3. 学会等名 第 58 回大学美術教育学会 岐阜大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究 岐阜県
3. 学会等名 第 58 回大学美術教育学会 岐阜大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 山本鼎の生いたち 新資料による解明、そして国柱会のこと
3. 学会等名 明治美術学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田洋子
2. 発表標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 宮城教育大学
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 贈与交換システム論的美術教育学における参照源の概念 その参照・形成過程の考察
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田洋子
2. 発表標題 戦後日本の教員養成大学・学部における学科目「美術科教育」の整備課程
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究 奈良県
3. 学会等名 大学美術教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 美術教育実践学の構想
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 戦後美術教育史と美術科教育学会 戦後的人間像の克服
3. 学会等名 美術科教育学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田洋子
2. 発表標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 - 北海道 -
3. 学会等名 大学美術教育学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田洋子
2. 発表標題 美術教育学の制度的基盤の成立過程 - 東海地方 -
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究 - 北海道 -
3. 学会等名 大学美術教育学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 美術教育のシステム論的再定義
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 大阪府立堂島高等女学校での上田南嶺の日本画指導について
3. 学会等名 美術科教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金子一夫
2. 発表標題 近代日本の美術教育
3. 学会等名 「佐賀の美術教師たち」展（佐賀大学美術館）（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 吉田武男、石崎和宏、直江俊雄	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 200
3. 書名 初等図画工作科教育	

1. 著者名 金子一夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学术研究出版	5. 総ページ数 234
3. 書名 美術教育学叢書 2 美術教育学の歴史から	

1. 著者名 小田原のどか、小谷元彦、山田亮太、平瀬礼太、千葉慶、椎名則明、迫内祐司、金井直、白川昌生、金子一夫、高橋幸次、田中修二、青木野枝	4. 発行年 2018年
2. 出版社 トボフィル	5. 総ページ数 544
3. 書名 彫刻1	

1. 著者名 神林恒道・ふじえみつる監修	4. 発行年 2018年
2. 出版社 三元社	5. 総ページ数 264
3. 書名 美術教育ハンドブック	

1. 著者名 金子一夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 〔私家版〕	5. 総ページ数 46
3. 書名 図画工作科・美術科教育の基礎	

1. 著者名 金子一夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 〔私家版〕	5. 総ページ数 56
3. 書名 美術科教育の研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	金子 一夫  (KANEKO KAZUO)  (70114014)	茨城大学・教育学部・名誉教授   (12101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件



8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------